



μ C3/Standard 評価版ガイド

i.MXRT1050 Cortex-M7 EWARM 編

2020 年 07 月 イー・フォース株式会社

1. はじめに

このたびは、μ C3/Standard 評価版をお試しいただき、ありがとうございます。本書では評価版パッケージのインストール手順、パッケージの概要について説明しています。

なお、μ C3/Standard (RTOS) の詳細については、評価版のインストール後、Document フォルダにインストールされるユーザズガイドを参考にして下さい。

制限事項

本評価版は次の評価ボード上での試用を対象としています。

- ・ NXP Semiconductors 社 MIMXRT1050-EVB評価ボード

添付しているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、RTOS のソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

- RTOS の ID 数の制限

- ・ タスクの個数 : 12 (製品版では 255)
- ・ その他のオブジェクト個数 : 8 (製品版では 999)

※. 参考情報 : IDの詳細については、μ C3/Standardユーザズガイド「3.3.1 オブジェクトのID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

本評価版を使用するにはIAR システムズ社の統合開発環境 EWARMが別途必要です。

2. パッケージの概要

インストーラ

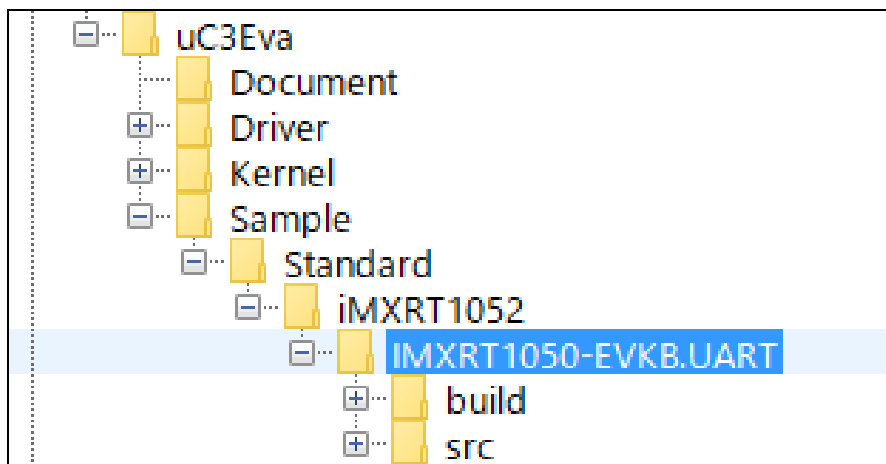
μ C3/Standard 評価版では、インストーラが用意されています。

uC3Std_iMXRT_EWARM_Eva.exe を起動すると下記インストール画面が表示されるので、インストーラのメッセージに従い、評価版パッケージをインストールしてください。



フォルダ構成

インストールが完了すると、評価版のパッケージは、以下の構成となります。



サンプルプログラムの実行

μ C3/Standardでは、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。

次のサンプルプログラムが「¥uC3Eva¥Sample¥Standard¥iMXRT1052」に格納されています。

評価ボード名称	サンプルの概要	対象フォルダ
NXP Semiconductors 社 MIMXRT1050-EVB	uC3(RTOS)+シリアル通信 マルチコアサンプル	IMXRT1050-EVKB.UART

サンプルプログラムの実行方法は、TutorialGuide_CortexM7_iMXRT1050_Std.pdfを参考にして下さい。